

さぎん 会社説明会

このまちで、あなたと・・・

～金融の枠を超えて地域の価値向上を実現する銀行グループ～

2023年 11月

※本編は2023年6月に開示いたしました会社説明会資料の一部について
計数に関する部分を2023年9月期の計数に置き換えたものです。

このまちで、あなたと
 佐賀銀行

目次

1.	2023年度中間期損益の状況	… 2～4
2.	対顧客利益推移	… 5
3.	預貸金の状況	… 6
4.	有価証券の状況	… 7～8
5.	不良債権比率の推移	… 9
6.	自己資本比率の推移	… 10

1. 2023年度中間期損益の状況

(単位：百万円)

項 目	No.	2022年度 中間期	2023年度 中間期	前年比	備 考	
業務粗利益	1	15,198	14,235	△ 963	貸出金平残	△1.53% (△335億円)
資金利益	2	13,125	12,657	△ 468	貸出金平残【除く政府系】	+7.59% (+1,397億円)
資金運用収益	3	13,861	14,375	514	貸出金利回り	0.878% ⇒ 0.937% (+0.059%)
貸出金利息	4	9,532	9,996	464	貸出金利回り【除く政府系】	1.034% ⇒ 1.008% (△0.026%)
有価証券利息配当金	5	4,059	4,201	142		
その他	6	269	177	△ 92	預金等平残	△0.15% (△43億円)
資金調達費用	7	735	1,718	983	預金等利回り	0.017% ⇒ 0.005% (△0.012%)
預金等利息	8	250	73	△ 177		
その他	9	484	1,644	1,160	総資金利鞘	0.16% (前年比 △0.04%)
役務取引等利益	10	2,245	2,434	189		
役務取引等収益	11	3,991	4,208	217	法人ビジネス関係+80、アセットビジネス関係+117	
" 費用	12	1,745	1,773	28		
その他業務利益	13	△ 172	△ 857	△ 685		
経費	14	9,697	9,900	203	物件費+258、人件費△93、税金+38	
実質業務純益	15	5,501	4,334	△ 1,167		
信用コスト	16	37	693	656	例年並みとなり前期比増加	
一般貸倒引当金繰入額	17	-	△ 194	△ 194		
個別 " "	18	-	858	858	信用コスト	= 0.035% (前年比△0.032ポイント)
債権売却損等	19	69	29	△ 40	貸出金平残	
貸倒引当金戻入益 (△)	20	31	-	△ 31		
その他の臨時損益	21	908	1,174	266		
経常利益	22	6,372	4,815	△ 1,557		
特別損益	23	356	200	△ 156	+要因：固定資産処分益+157、固定資産処分損△60、減損損失△65	
税引前中間純利益	24	6,729	5,015	△ 1,714	△要因：退職給付制度改定益△440	
法人税等・法人税等調整額	25	1,702	1,133	△ 569		
中間純利益	26	5,026	3,881	△ 1,145		
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	1,829	2,457	628		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2023年度中間期損益の状況（つづき）

業務純益についての補足説明

（単位：百万円）

項目	No.	2022年度中間期	2023年度中間期	前年比	備考
業務純益（2+12）	1	5,501	4,529	△ 972	
実質業務純益（3+11）	2	5,501	4,334	△ 1,167	
コア業務純益	3	5,825	4,319	△ 1,506	
資金利益	4	13,125	12,657	△ 468	貸出金利息+464、有価証券利息△371
役務取引等利益	5	2,245	2,434	189	法人ビジネス、預かり金融資産等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	152	△ 857	△ 1,009	
外国為替売買損益	7	△ 213	△ 1,372	△ 1,159	外貨調達コスト上昇
その他	8	365	515	150	
経費（△）	9	9,697	9,900	203	デジタル施策に伴う物件費の増加
コア業務純益（投信解約損益除く）	10	5,456	4,229	△ 1,227	投信解約損益 2022年度:369、2023年度:90
国債等関係損益（5勘定戻）	11	△ 324	14	338	
一般貸倒引当金繰入額（△）	12	0	△ 195	△ 195	
臨時損益	13	870	285	△ 585	
うち 株式等関係損益（3勘定戻）	14	743	1,049	306	有価証券の売却益の増加
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	38	888	850	大口要因による増加
経常利益（1+13）	16	6,372	4,816	△ 1,556	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2023年度中間期損益の状況（つづき）

（単位：百万円）

	2022年度 中間期	2023年度 中間期	前年比	増減要因
経常収益	19,832	23,058	+3,226	+要因：貸出金利息 +464、国債等債券売却益+330、株式等売却益+2,007 △要因：預金等利息 △177
経常利益	6,372	4,815	△ 1,557	+要因：対顧客利益+627 △要因：市場部門 △1,323、信用コスト+656
うち				
△ 預貸金利息収支差	9,282	9,923	+641	
△ 貸出金利息	9,532	9,996	+464	増減要因分析：残高要因 +715、利回り要因 △250（除く政府系）
△ 預金等利息	250	73	△ 177	増減要因分析：残高要因 △0、利回り要因 △177
△ 役務取引等利益	2,245	2,434	+189	
△ 役務取引等収益	3,991	4,208	+217	アセットビジネス +117、法人ビジネス関連 +80
△ 役務取引等費用	1,745	1,773	+28	住宅ローン等保険料 +39
△ 市場部門	3,218	1,895	△ 1,323	
△ 有価証券利息配当金	3,407	3,600	+193	外貨建外債 +496、REIT +101、外債投資信託 △321
△ 債券等売却損益	451	1,498	+1,047	国内債 +478、外貨建外債 +441
△ 特定金銭信託	3	9	+6	
△ 外貨調達コスト	643	3,211	+2,568	
△ 経費	9,697	9,900	+203	物件費 +258、人件費 △93、税金 +39
△ クレジットコスト	37	693	+656	前期からの大口要因反動増
△ 株式売却損益・減損	743	1,049	+306	
特別損益	356	200	△ 156	前期、年金制度移行に伴う改定益からの反動減
税引前当期純利益	6,729	5,015	△ 1,714	
法人税等・法人税等調整額	1,702	1,133	△ 569	
当期純利益	5,026	3,881	△ 1,145	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※要因は主なもののみ記載しております。

2. 対顧客利益の推移

項目	No.	2021年度9月中間期		2022年度9月中間期		2023年度9月中間期	
			前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-6)	1	1,247	734	1,829	582	2,457	628
預貸金利息	2	9,226	107	9,281	55	9,923	642
貸出金利息	3	9,343	68	9,532	189	9,996	464
預金等利息	4	117	△ 39	250	133	73	△ 177
役務利益	5	2,070	423	2,245	175	2,434	189
経費	6	10,049	△ 204	9,697	△ 352	9,900	203

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 預貸金の状況（2023年度中間期実績）

1. 貸出金の状況

（単位：百万円）

		2022年度中間期	2023年度中間期	前年比
貸出金全体	平残	2,180,250	2,146,681	△ 33,569
	利回り	0.872%	0.928%	+0.056%
	利息	9,532	9,996	+464
うち事業性	平残	1,113,202	1,166,867	+53,665
	利回り	0.898%	0.879%	△ 0.019%
	利息	5,012	5,147	+135
うち住宅ローン	平残	383,807	421,643	+37,836
	利回り	1.045%	0.995%	△ 0.050%
	利息	2,012	2,105	+93
うち消費者ローン	平残	38,336	36,783	△ 1,553
	利回り	7.716%	7.807%	+0.091%
	利息	1,483	1,439	△ 44
貸出金全体 （除く政府系）	平残	1,839,280	1,912,957	+73,677
	利回り	1.033%	1.042%	+0.009%
	利息	9,532	9,996	+464

2. 預金等の状況

（単位：百万円）

		2022年度中間期	2023年度中間期	前年比
預金等全体	平残	2,849,173	2,844,773	△ 4,400
	利回り	0.017%	0.005%	△ 0.012%
	利息	250	73	△ 177
うち個人預金	平残	1,753,376	1,779,361	+25,985
うち法人預金	平残	786,057	790,222	+4,165

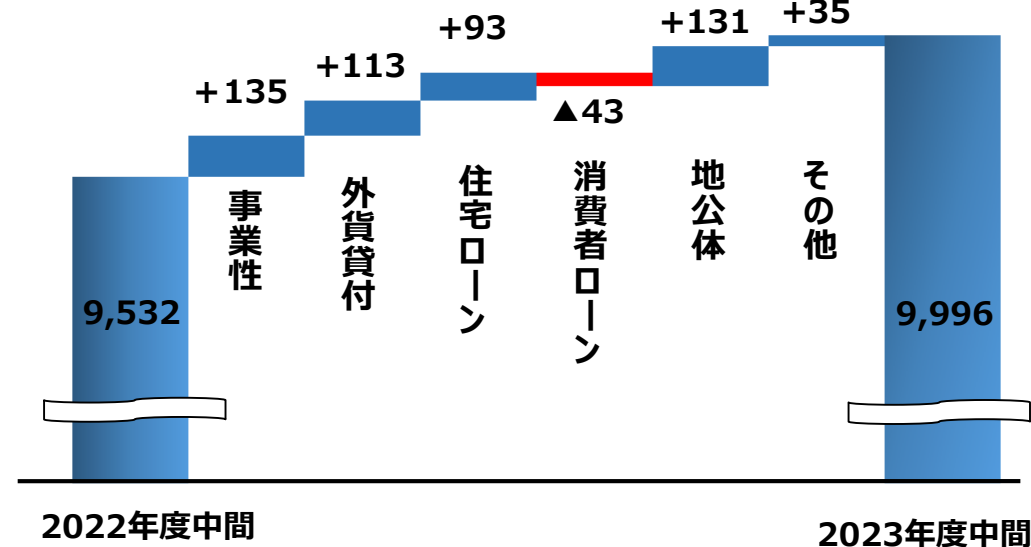
※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローン

の平残等については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

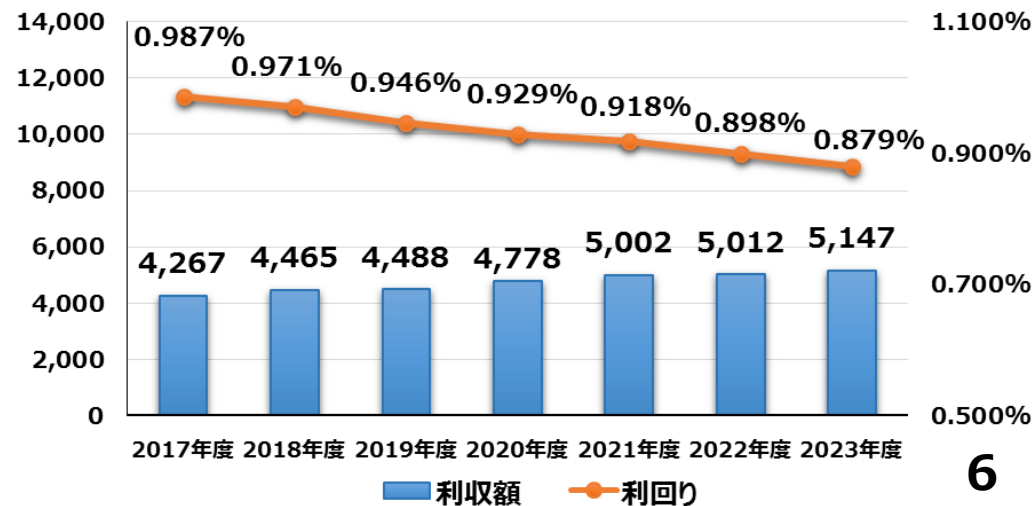
「貸出金利息前年度比」

（単位：百万円）



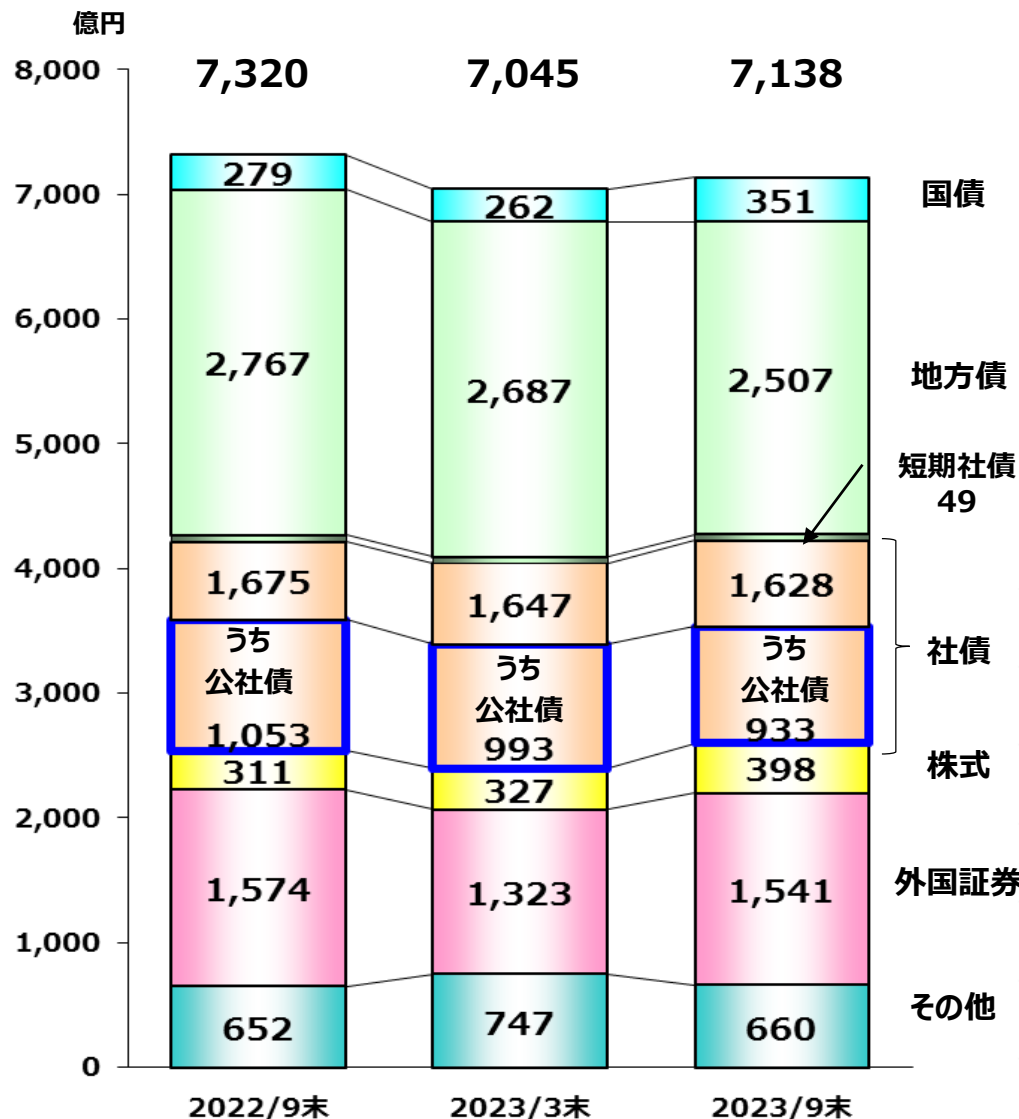
「事業性貸出金中間期利収額・利回り推移」

（単位：百万円）



4. 有価証券の状況

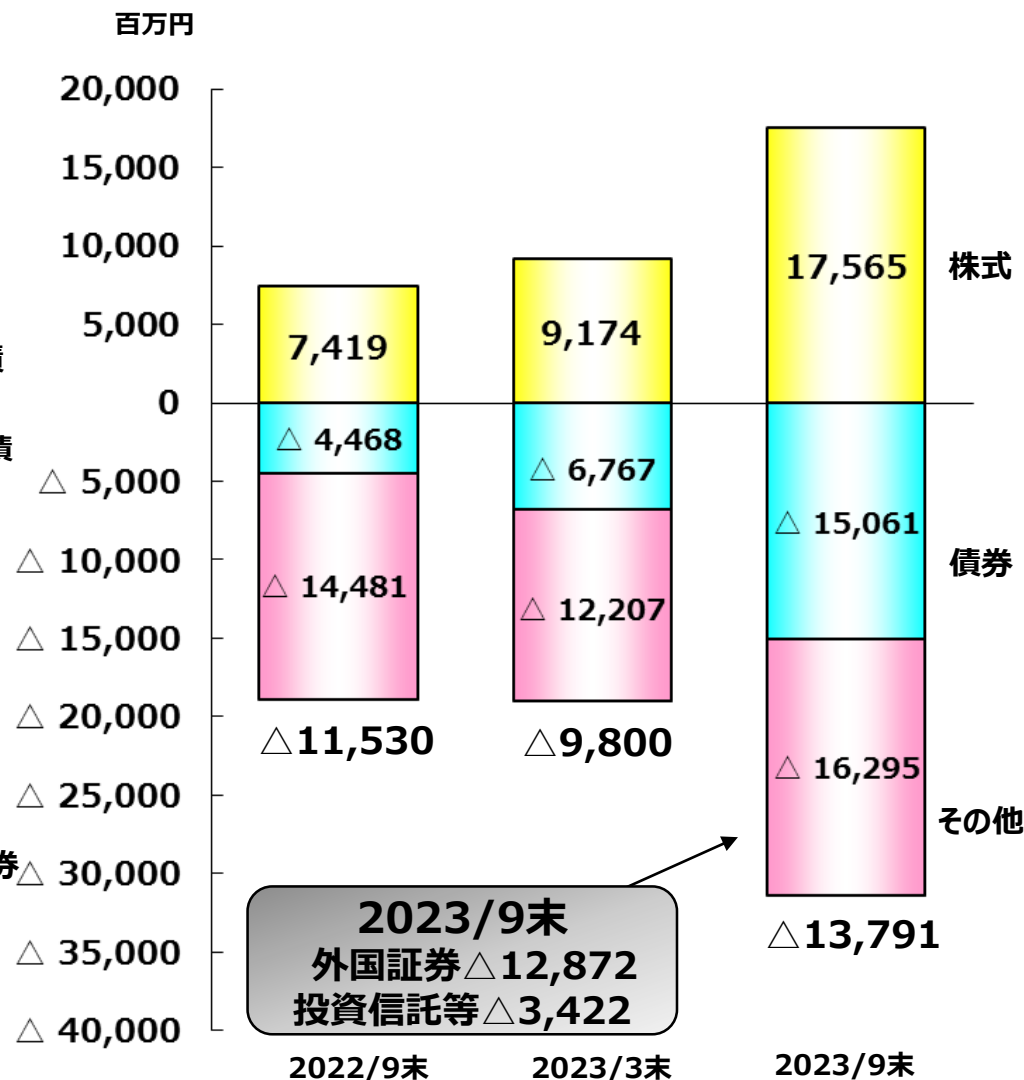
1. 有価証券残高（BS計上額）



※億円未満は切り捨てて表示しております。

※その他は主に投資信託。

2. 「その他有価証券」の評価損益



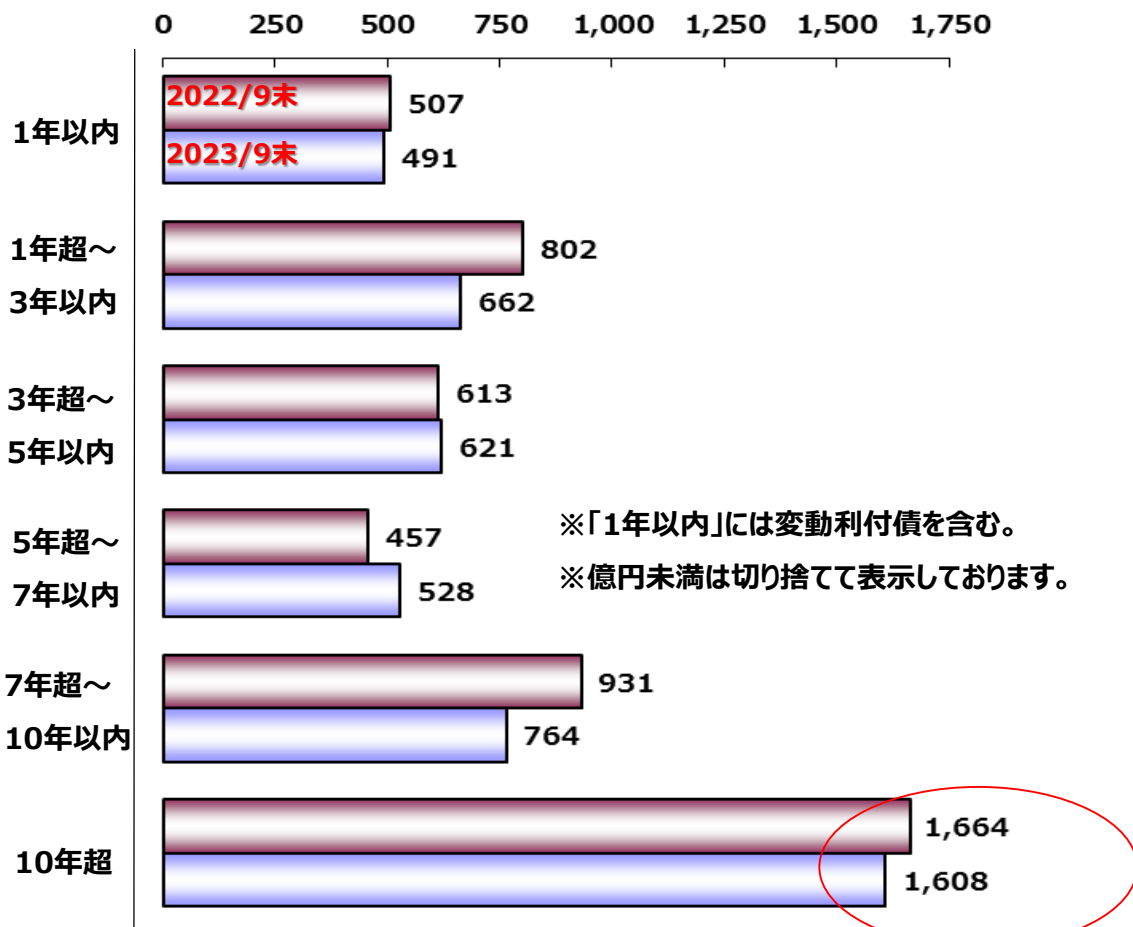
2023/9末
外国証券△12,872
投資信託等△3,422

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

4. 有価証券の状況

3. 円建債券の残存期間別簿価残高

億円

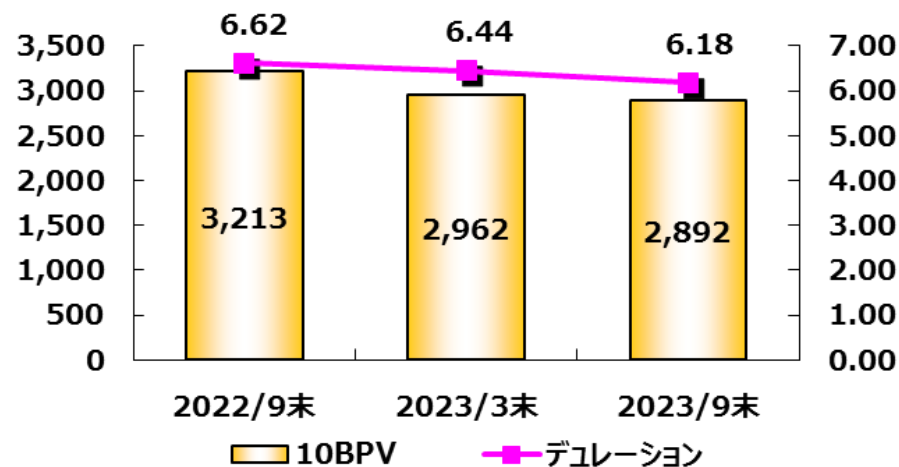


✓ 残存期間10年超は主に定時償還地方債やRMBS（住宅ローン担保証券）であり、デレージョンは抑えられている。

4. 円建債券のデレージョンと10BPV

百万円

年

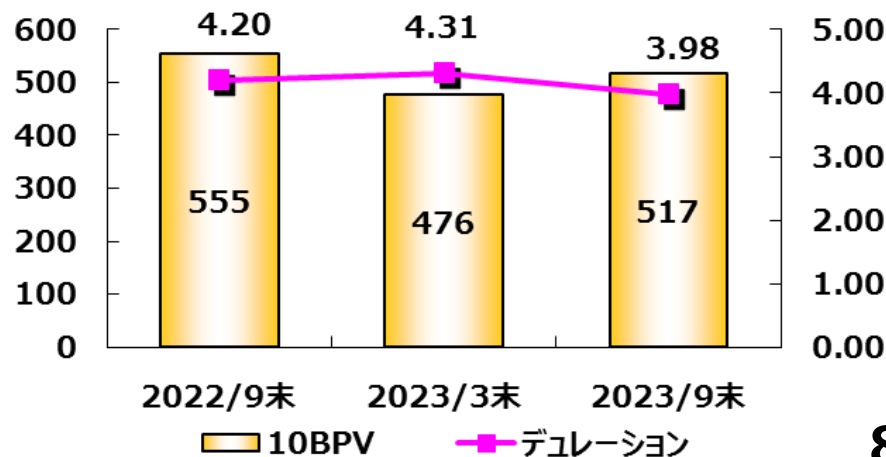


※ デレージョンおよび10BPVはヘッジ考慮後にて算出。

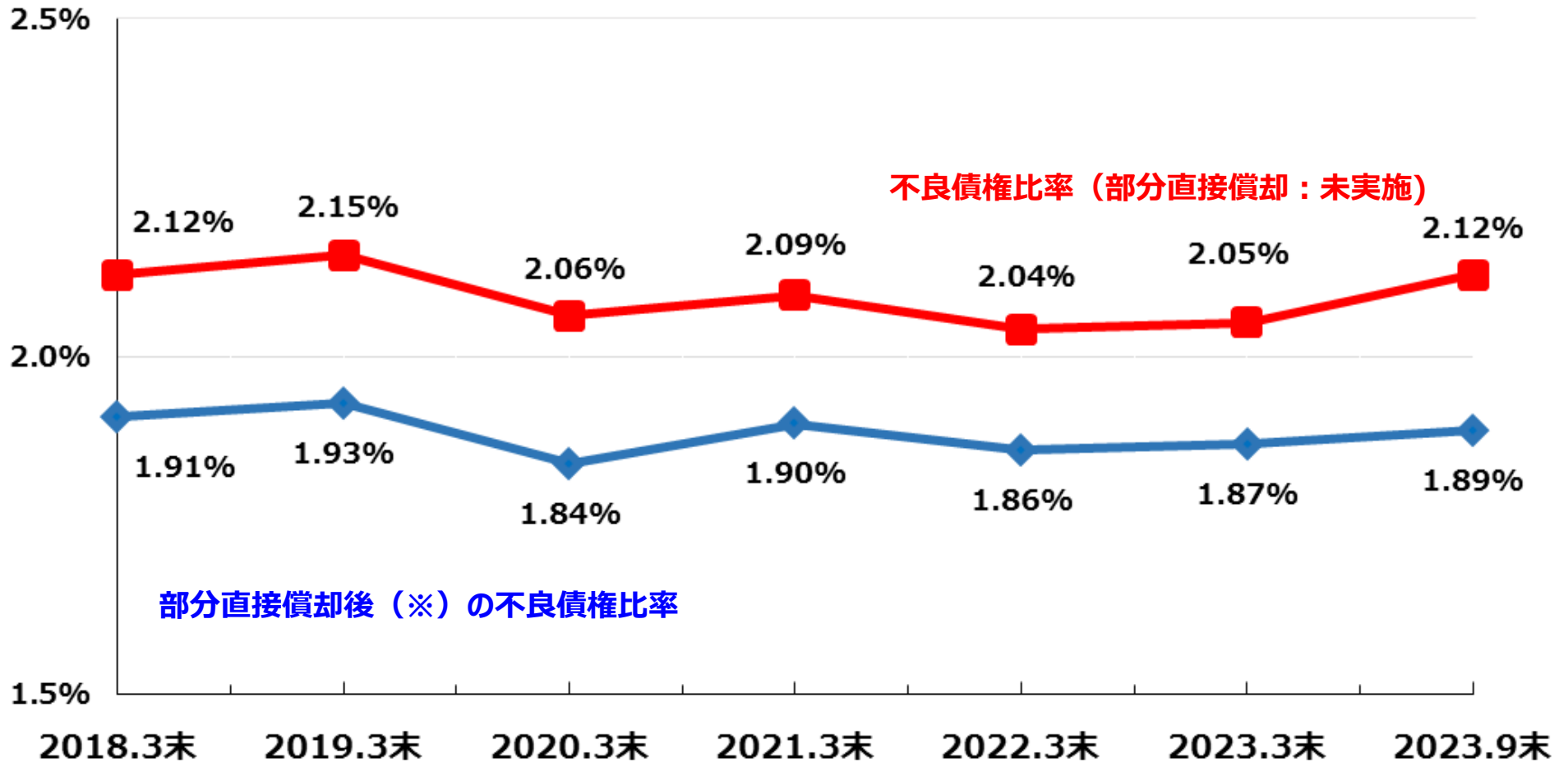
5. 外貨建債券のデレージョンと10BPV

百万円

年



5. 不良債権比率の推移



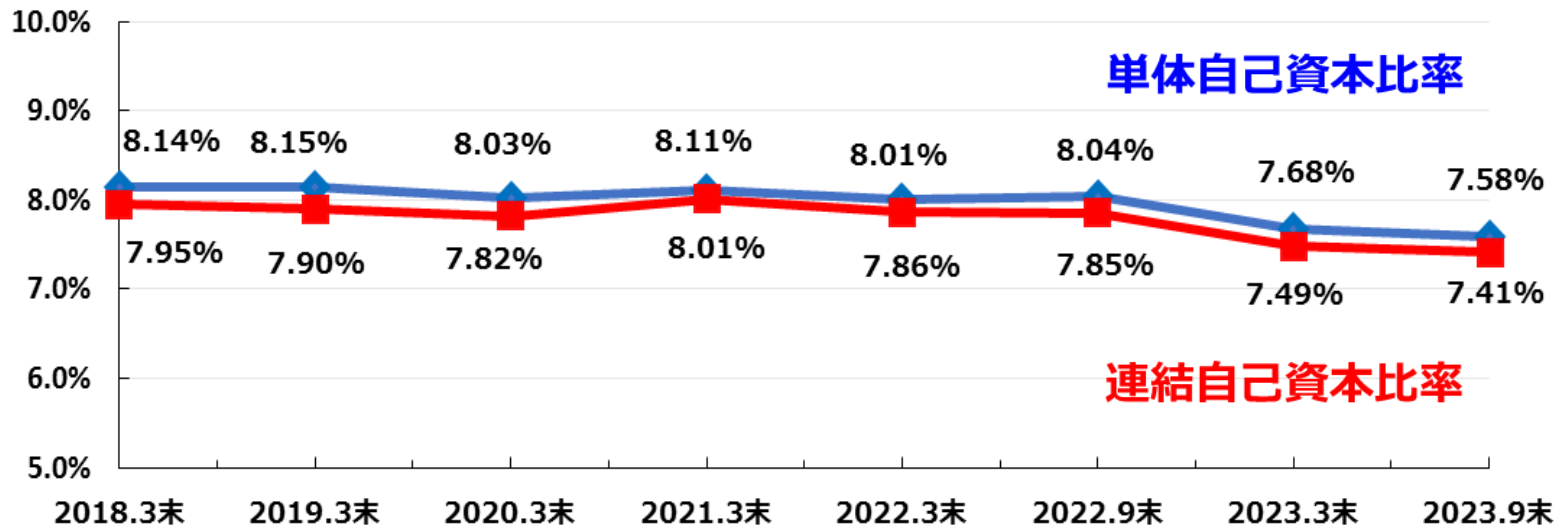
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

6. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)			【連結】		(単位：百万円)		
		2023/3末	2023/9末	(2023/3末比)	2023/3末	2023/9末	(2023/3末比)		
自己資本	A	113,670	116,278	2,608	111,364	114,052	2,688		
リスクアセット	B	1,479,068	1,532,382	53,314	1,485,239	1,538,761	53,522		
自己資本比率 (C=A/B)	C	7.68%	7.58%	△0.10%	7.49%	7.41%	△0.08%		



【自己資本】
2023年9月期は2023年3月期と比べ、利益の積み上げ等により、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】
2023年9月期は2023年3月期と比べ、法人向け貸出金の増加等により、リスクアセットは増加しました。

※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

<資本政策の基本方針>

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行

総合企画部

TEL 0952-25-4617

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。

今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。